



## 遠藤ちひろ (あすたま・維新)

能登半島地震で揺れた東京・多摩の  
防災体制

- 問** 被災地に多摩市職員を派遣したが、現地の状況を伺う。
- 答** 1月末に現地へ支援物資を届けたが、道路の寸断など厳しい環境だった。
- 問** 私が実施した緊急市民アンケートでも、携帯トイレへの関心が高かった。3日分だと約4000円の費用がかかるらしい。ポリ袋と新聞紙の代替トイレなどの啓発を進めてはいいか。
- 答** まずは市民自身の自助が基本になる。有用な方法の啓発を進めていきたい。
- 問** ペット同行避難訓練では獣医師会が大きな役割を果たしてくれた。応急危険度判定を建築士会にお願いできるよう、協定の締結を急ぐべきではないか。
- 答** 検討して参りたい。
- 問** アンケートでは、体育館での宿泊訓練やマンホールトイレの利用体験、自家用車を用いた車中泊訓練へのニーズが見て取れる。再開するタイミングではないか。
- 答** 辛いだけではないような避難訓練を考えて参りたい。



## 中島律子 (あすたま・維新)

1. 民生・児童委員について  
2. 障がいをもつ未就学児の一時保育について

- 問** 今まで民生・児童委員の方の個人情報を広報紙に載せていたが抵抗のある方もいる。改善や検討はされているか。
- 答** 本年2月20日に発行した民生・児童委員の広報紙より顔写真と電話番号の掲載をやめ、最初の問い合わせを福祉総務課と改めた。
- 問** 欠員がなかなか埋まっていない。担い手を増やすために活動内容の見直しや、幅広い年齢層へのアプローチが必要だかがいかがか。
- 答** 従来のやり方に捉われず、出来ることから適宜見直していく。
- 問** 障がいを持つ未就学児の一時預かり先が少ないと思うがいかがか。
- 答** 安全に集団保育を行うことができれば障がいの有無によって利用が制限されることはない。医療行為を必要としないお子さんは基本受け入れる方向で調整している。



## しのづか元 (多摩みらいの会)

1. 市長施政方針について  
2. 交通安全施設整備のあり方について

- 問** 総合計画の基本構想に定めた「将来都市像」実現のため、本格的スタートの年度として、どの点を留意して取組みを進めていくのか、見解を伺う。
- 答** 「環境との共生」「健幸まちづくりの推進」「活力・にぎわいの創出」という3つの重点テーマに全庁一丸となって取組みを進める。
- 問** 「都市計画マスタープラン」の改定と「(仮称)産業振興マスタープラン」の策定を通じ、どのような狙いで取組みを進めていくのか、見解を伺う。
- 答** これらの計画については、互いに密接に連携して進めていくことが重要であり、これからの多摩市の都市経営に大きな役割を果たすこととなると考えている。
- 問** 策定予定の「(仮称)アセットマネジメント計画」では、どのような考えのもとで策定に臨むのか、見解を伺う。
- 答** これからの不確実な時代における公共施設のあり方としては、ニーズの変化に柔軟に対応できる施設づくりや、施設の機能転換、複合化といった視点が重要。



## いぢち恭子 (ネット・社民の会)

1. 従来型保険証の廃止について  
2. 樹木の管理について

- 問** 「暗証番号不要」のマイナンバーカードとは何か。
- 答** 自己管理が難しい人向けに、暗証番号なしで健康保険と本人確認のみに使えるカードが昨年導入された。
- 問** 廃止予定の保険証の代わりになる「資格確認書」の有効期限はどうなるか。
- 答** 「5年以内」で各保険者が設定する。
- 問** 2月の降雪時に乞田川沿いの桜が2本倒れた。市内の桜の品種と寿命について確認したい。
- 答** 乞田川沿い含め多くはソメイヨシノで、60年程度が寿命。
- 問** 現地を視察したところ、大きなキノコの生えた木が何本もあり、樹勢の劣化が懸念される。樹木の健康状態に関する安全基準はあるか。
- 答** 現在はない。
- 問** 維持管理指針を作ってもらいたい。5年前に乞田の桜を全部調査したそうだが、今後同様の計画はないのか伺う。
- 答** なるべく早く考えたい。



桜の根本に生えたキノコ